

【パンデミックの時代に光を飛ばす～7つの封印の巻き物を解く子羊～黙示録5章】

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

今日も数名のスタッフだけで、ほぼほぼ無人の会場でメッセージをしています。

先日 WHO で「今回の新型コロナウイルスは、飛沫感染が非常に濃厚である」と発表がありました。飛沫は唾のしぶきですね。大体くしゃみ1発4万個。咳をゴホッで3万個。落ち着いた自然な会話を5分間で3千個だそうです。飛沫が体に付いても感染する訳ではなく、粘膜に付いたら危ないと言うんです。

中国で、これをいち早く警告して亡くなったドクターは眼科の医師でした。命を落とされた多くの医師が眼医者さんです。眼球は「むき出しの内臓」という別名があって、目を擦ったりして、そこから入って来るといふ事ですね。

という事で、私の場合は静かに5分間話すのではなく、時に興奮して大声が出るので、1時間余りだと恐らく数十万個。スタッフも皆遠巻きというか、少し離れた所で聞いてもらっていますが、皆さんは画面を介しているので安全です。

先週コロナウイルス被害が増大していましたが、1週間経って鎮静化するどころか、ますますひどくなっていて、今や南極大陸以外の全ての大陸地域に広がり、世界180以上の国々で累計感染者が90万人突破。ものすごい勢いですが、今日も東京では95人以上の感染があって、過去最高だと報道がありました。

今世界中の政府は本当に戦闘モードで、戦時下に入っているみたいな感じです。

イタリア・フランス・アメリカは、買い出し以外の外出移動禁止令が出ていて、破ると罰金。公共交通網はバス・地下鉄が殆ど本数を減らして、物理的に動けないように、移動したくても出来ないようにしています。学校はほぼ全面休校。インドでは13億人以上に外出禁止令。違反すると罰金+最高6か月の拘置所。カナダも外出禁止令が出ていて、破ると76万カナダドル。日本円で5800万円。つまり、用もないのに外をウロウロしていたら約6千万円の罰金。皆出ません。

日本は小池都知事が都市封鎖の可能性を言及しているけど、でもお花見で公園に行ったり、若者は「私たち、罹っても軽いんで」と、うつす側の立場になくて非常に甘い。こんなに甘いのは自粛だからです。自粛とは、自ら進んで慎む事で罰則がない。破っても刑事罰が下る事はない。なので、どんなに自粛要請しても、動く人がいる限り抑える事ができないとなれば、もう都市封鎖は時間の問題だと考えています。

そういう中で、私は3つの事を思いました。

①世界は一瞬で変わる；今年1月、「新年明けましておめでとうございます」と言って、新年会のおめでたい気分の時に、東京オリンピックが年内無くなると思っていた方、おられますか？ カウントダウンだと楽しみにしていたんじゃないですか？ でも、年内は無いです。

それから、ついこの間まで、日本経済の1番大きな問題は人手不足でしょ。色んな優良企業が人手不足で倒れて行って、少子化のための努力が少ないと。それで、コンビニも24時間営業を見直すとか言われていたのに、今どうですか？ 本来4月に入社式を迎えているはずの新入社員たちが、自宅待機はまだ良い方で、内定取り消しの嵐でしょ。

今年4月、日本外交で大きなイベントが用意されていました。習近平が国賓として来日する事です。

日本国内では、特に保守派の人たちが「こんな事はやるべきではない!」「数百万人のウイグル人を強制収容所に押し込んだり、香港で人権弾圧をやったり、尖閣で毎日のように領海侵犯するような独裁者のトップを、なんで招かなあかんねん?!」と、色んな方々が安倍総理に言ったけど、「私が直切話さなければ伝えられない事があるんだ」と頑として譲らなかったのに、無いじゃないですか。コロナ騒ぎですよ。

つまり、世界は一瞬で変わる。現状で押しても引いても、どんな力を使っても、何とも動かないものが、一瞬で世界は大きく変わる。前回は、人類歴史がパンデミック・疫病によって、どんなに大きな影響を受けて来たかという話をしました。世界は一瞬で変わります。なので今の状態が、また次の大きな事件によって、一瞬でガラッと変わる事があるのです。

②携挙；もう1つ私が考えた事は、次に世界に起こる最も大きなしるしは何か？

聖書預言によると、パンデミック以上に大きなインパクトを与える大事件が世界に起こります。それは「携挙」。携挙とは携え上げる。イエス・キリストが空中まで来て、本物のクリスチャンだけを、一瞬にして天に引っ張り上げるのです。その瞬間何が起こるか？世界中からクリスチャンが忽然と姿を消します。

私は毎年全国の教会を訪問させて頂いて、聖書メッセージを伝えて来ましたが、3月・4月・5月中旬まで予定全部キャンセル。楽しみにして下さった皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。大きな集会は、会場の予約をしなければならないので、1年以上前から計画します。色んなプランがあったのですが、その大きな会場が皆、催し物には貸し出しできないとの事でキャンセル・キャンセル。だから、3月-5月、私どこにも行かないという事になるんです。コロナ騒ぎで。

色んな所で特別な集会が取りやめになったけど、それだけでなく、今日曜日に色んな教会が開いてません。政府が3密禁止運動。密閉空間・密集の集まり・密室で話したりするのをやめて。教会に集まったら3密をやるという事になるので、今全国の教会が、普段ならやっているはずの集会をやってない。

教会堂はある。キリスト教会の看板も立っている。駐車場も空いている。でも、中に入れない。建物はああるけど、中にクリスチャンは集っていない。これは、携挙が起こった時、地上に残った人たちが見聞きする光景なんです。その時、どんなに聖書の言葉を聞きたいと思っても、説明してくれるクリスチャンがいないという事。建物はあある。しかし、そこにクリスチャンはいない。レフトビハインドの世界です。その予行演習のような、ひな型のような事が今起きているのですね。

クリスチャンがいなくなった後で、人類歴史上1番厳しい時代が来ます。その時代を「患難時代」と言って7年間続きます。それを非常に詳しく語っているのが**黙示録**。だから今日、**黙示録**から見たいと思いました。

③情報戦争；この状況の中ですごく感じているのは、今私たちは情報戦争の只中にいるという事です。ご承知のように中国は、「中国で発生したからといって、中国に責任があるとは言えない。このウィルスはアメリカが生物兵器で持ち込んだんだ」と言っています。だけど世界は「そうかもしれない」とは思っていないんです。総スキャンですよ。そんな事言ったから。だから、これが収まった後で、世界は大きく変わっています。中国にくつつくグループと、距離を置いて・離れて・対決して行くグループに分かれると思います。

今はフェイクニュースが非常に多い。

大洪水や大津波で町々が水びだしになった時、1番不足するのは飲み水です。

汚れた水は町中に溢れ返っているけど、飲む事ができる真水・清潔な水・衛生的に大丈夫な水は不足する。

今は、汚れた洪水の情報の時代。情報洪水というか、フェイクニュースがいっぱい。その中でフェイクに対抗するには「ファクト」しかない。嘘に対しては「事実」の積み上げで論証して行かなければならない。毎日、色んな情報が「これが事実です。こんな事が分かりました」と出て来るけど、毎日毎日、日々刻々と変わる情報を追いかけて行くのは、私たちの仕事じゃないです。専門家に任せておきたいと思います。

今日聞いて、明日価値が無くなるような情報ではなく、今の終末時代に、神が教えたいと願っている事は何か？ 自然界が崩れて行くおかしき時代の中で、私たちを造り・愛している創造主は、私たちに何に気づかせたいと考えておられるのか？ それを特に集中して語っているのが**ヨハネの黙示録**なんです。

今日は**ざっくり黙示録シリーズ**の10回目。私はこのシリーズ、ちょっと急いでるんです。早く患難時代の説明に入って、今の時代との関連をお伝えしたいと焦っているんですけど、でも順番にやって行きたいと思っています。今日は**黙示録5章**。

まず復習します。もう1か月前になったけど、**黙示録4章**、覚えてらっしゃいますか？ 忘れたら、前のをまた見て下さい。

やがて患難時代が来ますが、その前に教会時代があります。7つの教会時代。これは**黙示録2章-3章**。7年間続く患難時代は**黙示録6章-19章**に詳しく出て来ます。

4章・5章は地上の事じゃなくて、天で何が行われているのかという天の光景の描写です。そこでの登場者は、もちろん天の神はいますが、天の神の王座の最前列に**24人の長老**がいます。これは教会でした。つまり、地上には色んな教会があったけど、本物のクリスチャンたちは、患難時代の前に天に引き上げられるという事です。その後、患難時代が**6章**から始まるのですね。

4章では、天の御座/王座に座しておられる方が「父なる神」。御座の周りがある7つのともしびが神の7つの御霊/「聖霊」。

聖書の神は唯一の神ですが、単一ではなく三位一体の神です。「父なる神」と「聖霊なる神」は出て来るけど、「御子なる神イエス・キリスト」は登場しない。一体どこに？ **5章**に出て来るんです。

5章をかいつまんで言うと3つのポイントです。

- 1) 天の王座に座しておられる父なる神が、手に7つの封印で封をされた巻物を持っている。
- 2) 子羊が現れて、その巻物を右の手から受け取る。
- 3) 受け取った瞬間に、3つのグループがその子羊を礼拝する。

そこで、3つのポイントでざっくり説明したいと思います。

①7つの封印で封をされている書/巻物とは何か？ 神の右手にある7つの封印の書物は何を意味しているのか？ ②それを受け取る事ができた子羊とは誰か？ ③3つのグループが子羊を礼拝する理由は何か？

①7つの封印の書/巻物とは何か？

黙示録5:1-3 また私は、御座に着いておられる方の右の手に巻物を見た。それは内側にも外側にも字が書かれていて、七つの封印で封じられていた。また私は、一人の強い御使いが「巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げているのを見た。しかし、天でも地でも地の下でも、だれ一人その巻物を開くことのできる者、見ることのできる者はいなかった。

御座に着いておられる方は父なる神。右の手は祝福を与える権威ある手。多くの人は右手が利き手ではありませんか？ 細かな仕事をしたり、よく働くのは右手じゃないかと思います。

ユダヤ人の先祖にヤコブがいます。彼には 12 人の息子がいて、特に溺愛したのがヨセフ。ヨセフには 2 人の息子がいて長男がマナセ。次男がエフライム。

ヨセフは父ヤコブが余命幾ばくもない時、生きている間に子供たちに祝福の祈りをして欲しいと、2 人を連れてヤコブの所に行きました。ユダヤ・特に中東世界では、長男にあらゆる優先権があります。なので、ヤコブの右に長男マナセを、左に次男エフライムを立てて「お父さん、祝福してやって下さい。」

その時、ヤコブは手をクロスさせて、右手を次男の頭の上に、左手を長男の頭の上に置きます。ヨセフは「お父さん、間違っています。右にいるのが長男マナセで、左が次男エフライムです」と言って、クロスしている手を戻そうとしますが、ヤコブは「分かっている。間違っているんじゃない。わが子よ、分かっている。長男も祝福される。しかし、次男はもっと祝福される。長男も偉大な国民になる。しかし、次男はもっと強くなる。」

実際、エフライムはイスラエル北 10 部族の代表/代名詞になります。マナセはヨルダン川を挟んで西と東で半部族ずつになって、長男ですがスッといなくなっていくんです。

なぜそんな事をしたのか？ イスラエルの神は小さいものを大きくする神です。有るものを無いもののようにし、無いものを有るものようにする神。だから恐らく「イスラエルよ、へりくだりなさい。あなた方は神に選ばれているけど、傲慢になってはいけません。へりくだりなさい」と言いたかったのではないかと思います。祝福の権威があるのは右手です。

「神の右手」という言葉は旧約聖書に何回も出て来ます。たとえば、

出エジプト記 15:6 主よ、あなたの右の手は力に輝き、主よ、あなたの右の手は敵を打ち砕く。

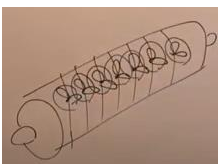
これは、神に左右 1 本ずつ、人間みたいに手が生えてるという意味ではないです。1 本ずつ手が生えている人間に分かり易くするために、こういうたとえ話をしているんですね。

右の手は力に輝き、敵を打ち砕く、権威ある実力ある手です。

出エジプト記 15:12 あなたが右の手を伸ばされると、地は彼らを呑み込んだ。

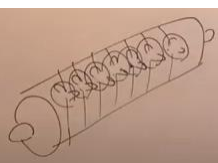
裁きをする手。だから、天の御座にいる方の右の手に握られている 7 つの封印の書は、力ある神の持ち物であると同時に、それは裁きの書物だという事が類推されますね。

これは具体的にどういうものか？ もう 1 度**黙示録**。7 つの封印の巻物と書いてあります。



簡単に言うと、7 つの封印とは、巻物に紐が 7 本が付いていて、それが結んである。蝶々結びかどうかは知りませんが。

当時は、結び目の部分をロウとか粘土でシールします。



その上に、証人たちが印/ハンコを押すんです。昔は、王様がはめている指輪に王の名前が彫られている印があって、それでギュッと押さえる。

黙示録が書かれたのは AD96 年・97 年くらい。パトモス島に流されたヨハネが、それを頂いて書いて行きますが、当時、7 つの封印を押された書物は珍しくなくて、最も頻繁に使われたのは遺書です。

初代ローマ皇帝はアウグストゥス。彼のお父さんがカエサル。カエサルは英語名ジュリアス・シーザー。英雄の中の英雄。男の中の男。カエサルの甥っ子がオクタウィアヌス。カエサルの養子になって、後に初代皇帝アウグストゥス。

塩野七生（しおの ななみ/1937- ）さんが『ローマ人の物語』、ものすごく長い小説を書いています。あるインタビュアーが「なぜ、この本を書こうと思ったのですか?」「だって、ローマにシーザーがいるじゃない。あんな魅力的な男性、小説家として書かずに終わる事はできない。」
「シーザーがいるから書いた」というくらい魅力的なシーザー/カエサル。

カエサルは独裁官で、最後は暗殺されました。「人間に支配されたくない」というアンチ・カエサルにブワツと取り囲まれて、全身 23 か所刺されたんです。

刺したメンバーの中に、ブルータスという若者がいました。ブルータスの本当のお父さんはカエサルだと言われています。カエサルが愛した女性の子で、大きくなるにつれて、容姿がカエサルそっくりになって行く。それで、刺されながら「ブルータス、おまえもか!」とシェークスピアの戯曲に出て来ますけど。

カエサルの死後、遺産は誰のものになるのか? 彼はちゃんと遺書を残していました。

第1相続人がオクタウィアヌス/アウグストゥス。殆ど彼のものです。しかし、第2相続人はブルータスですよ。自分の息子やと思ってたんです。

カエサルから財産を受け取った時、オクタウィアヌス/アウグストゥスは 20 歳になったばかり。なのに、どうしてローマ政治の荒波を乗り切って行けたのか? 一にも二にも、遺言状の威力で皆従って行ったのです。だから、遺言状はすごい権威があるという事で、初代皇帝アウグストゥスが亡くなる時、7つの封印で封じられた遺言書を作っています。

なぜ7つの封印で封をするのか? 勝手に開けられないようにする。と同時に、もう1つ理由があります。

黙示録 5:1 それは内側にも外側にも字が書かれていて、七つの封印で封じられていた。

なぜ、内側にも外側にも字が書かれているんですか? 書き加える事ができないためです。

僕の聖書の余白は、調べた事・教えられた事・聞いた事でビッシリです。だから膨らんでる。一部くっついてるのは、プロテインが入った牛乳をこぼしたから。

余白があったら書き込めるじゃない。遺言状は後から書き加えたら駄目なんですよ。書き加えようと思ったら、紐を解かないとダメ。紐は解けないけど、万が一にも書き加えられないように、内側にも外側にも字が書かれている。ビッシリと。だから、それ以上プラスアルファ出来ひん。つまり、これは最終的決定事項。誰も付け足しても削ってもならないものが、内側にも外側にも字が書かれている書物なんです。

巻物はギリシア語で「ビブリオ/Biblio」。「バイブル/Bible」の語源ですよ。英語では「スクロール/Scroll」。死海写本/Dead Sea Scrolls。巻物。この7つの封印の巻物は、結論から言うと、神の決定事項が書いてあるんです。では、どんな決定事項かを今からご紹介します。

黙示録はパッと読んでも意味がよく分からない箇所が出て来ますが、それは旧約聖書に登場するか、旧約聖書の中にも出て来ない時には、黙示録を最後まで読み切った時に「ああ、そういう意味だったのか」と分かる箇所が多いんです。これからいっぱい出て来ます。

7つの封印の巻物も同じで、最後まで読んだら分かるんですよ。普通の小説でも、読み進めて行くに従っ

て「あ、主人公はこっちの方やったんや」とか、初めは分からないけど、半分以上読んで「そういう事やったんか」と意味が分かる事がありますよね。7つの封印の巻物も同じです。

もう1度「患難時代」。患難時代は7年間。反キリストがイスラエルと契約を結ぶのが患難時代初日。イエス・キリストが地上再臨する日が患難時代の最後の日。7年間。7年間は前半と後半に分けられます。前半3年半。後半3年半。後半に行くにつれて、ますますひどくなる恐るべき時代です。

そして、前半の3年半は前半と後半に分けられます。7つの封印は、それを解く毎に、前半の前半が転機を迎えて、新しい状況にガラッガラッと変わって行くんです。

もう少し正確に言うと、7つの封印の内、6つの封印が前半の前半で、6段階で地上の様相が変化します。この6段階の変化は、封印を解く毎に変わって行くんですね。

前半の後半で7番目の封印を解くと、7つのラッパが出て来ます。前半の後半も6段階で変化しますが、それはラッパを吹き鳴らすと新しい変化になり、第2のラッパが吹かれると第2の変化、というように6段階で変化が来て、7番目のラッパを吹き鳴らすと7つの鉢が出て来ます。

後半の3年半は、余りにもひどい苦しみなので「大患難時代」という人もいます。これは6段階ではなく、7つに分かれています。1つの鉢を注ぐと1つの展開。2番目の鉢を注ぐと次の展開。

そして7番目の鉢を注ぐと、天でこういう声がするんです。「事は成就した。」

その時、人類史上最も大きな地震が起こります。7年間の患難時代、反キリストと言われる独裁者は2つの町（エルサレムと大バビロン）をベースに活動しますが、エルサレムは3つに引き裂かれ、大バビロンは滅亡します。そして、天変地異が起こり、35キロくらいの雹が降って来ます。

これは何を意味するかというと、イエス・キリストの地上再臨の時に起こる出来事が7番目の鉢なのです。

つまり、7つの封印の巻物の中に、7つのラッパと7つの鉢が入っている。

封印・ラッパ・鉢は、患難時代の初めから終わりまでの全プログラムを指すのです。

7つの封印の巻物の中に、患難時代で起こる裁きの決定事項が全部入っている。これが7つの封印の巻物。これは、後に行くに従って「なるほど」と思って頂けると思います。

①7つの封印の書/巻物とは何か？ 患難時代の初めから終わりまでの全ての裁きのプログラム。

②それを受け取る事ができた人物とは誰か？

黙示録5:2 また私は、一人の強い御使いが「巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げているのを見た。

一人の強い御使いは黙示録に3回出て来ます。ここが1回目。恐らくガブリエルです。ガブリエルは旧約聖書でも新約聖書でも、非常に重要なメッセージを人間に伝える時に登場しますよね。

ガブリエルはヘブライ語で、直訳すると「神の力強い偉大な者」。ここに、強い御使いと書いてあるので、ガブリエルと見るのが自然かな。断言はできません。僕はそう信じてますけど。そう見る事もできるのではないかなと思います。

この御使いが「巻物を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と誰に聞いたか？

黙示録5:3 しかし、天でも地でも地の下でも、だれ一人その巻物を開くことのできる者、見ることのできる者はいなかった。

天でも地でも地の下でもは、旧約聖書に頻繁に出て来る言い回しで、全被造世界の事です。

「創造主なる神様、あなたをほめたたえます」と言う代わりに、「『天と地と地の下にあるもの』『天と地と海とそこにある全てのもの』をお造りになった神」のような言い方がよくあるんですね。全被造物。

「その巻物を開く資格があるふさわしい者は誰か」と全被造物に呼びかけてみたものの、返事はありません。

黙示録 5:4 私は激しく泣いた。その巻物を開くにも、見るにも、ふさわしい者がだれも見つからなかったからである。

巻物が開かれないう事は、神の正義の審判は来ないという事です。神の人類救済計画は遂に完結しないという事。神がこの世界を回復するために立てている計画は結局実現しないという事。

それでヨハネは激しく泣いた。

黙示録 5:5 すると、長老の一人が私に言った。「泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます。」

ひも解く方がおられるから「泣いてはいけません。」

ひも解く方とは誰なのか、3つの紹介があります。

①ユダ族から出た獅子；獅子はライオン。初めて黙示録を見る人、「ユダ部族が住んでいる所にいる野生のライオン」という意味じゃないですよ。聖書をよく知っている人は「ああ、あれだ!」とピンと来る。メシアの事です。

ユダ族から出た獅子。「ユダ族は獅子だ」は**創世記**に出て来ます。**創世記 49 章**にユダ部族についての預言があって、先程マナセとエフライムを祝福したヤコブが12部族を祝福するところです。

創世記 49:8 ユダよ、兄弟たちはおまえをたたえる。おまえの手は敵の首の上にあり、おまえの父の子らはおまえを伏し拝む。

ユダはヤコブの4男。12部族いるけど、長男が1番立てられるのではなく4番目のユダがたたえられる。しかも、ユダは非常に大きな武力というか絶対的な力を持っていて、おまえの手は敵の首の上にあり、敵の首をいつでも落とす事ができる圧倒的な勝利者。

そして、おまえの父の子らはおまえを伏し拝む。まるで神であるかのように。なぜ他の兄弟たちがユダを伏し拝むのか？ ユダから王様が出て来るんです。代表的なのがダビデ。統一王朝の時、皆がダビデを王として尊敬します。

創世記 49:9 ユダは獅子の子。わが子よ、おまえは獲物によって成長する。雄獅子のように、雌獅子のようにうずくまり、身を伏せる。だれがこれを起こせるだろうか。

例えば「雄獅子が昼寝で身を伏せている時、起こしますか？ やられますよ。そんなバカな事する人いないでしょ」と。

ユダはおまえの父の子らの王となるだけではなく、

創世記 49:10 王権はユダを離れず、王笏はその足の間を離れない。ついには彼がシロに来て、諸国の民は彼に従う。

ユダ族の獅子はユダヤ民族の王であるだけではなく、諸国の民は彼に従う。諸国の民の王にもなる。

全人類の王になるメシアはユダ部族から出ます。そのメシアをユダ族の獅子と言っていて、黙示録でユダ族から出た獅子と紹介しているんですね。「この方はメシアです」と言っているんです。

②ダビデの根 ; 「根」と訳されている言葉はギリシア語で「リーザ」。リーザは「根」と訳してもいいんですが、「新芽」と訳す事も出来るんです。新共同訳聖書では「ダビデのひこばえ」と訳しています。

「ひこばえ」。漢字では「孫生え」。

樹木をパンと伐採して切り倒した後に切り株が残りますね。その切り株(根)から芽が生えて来ます。切り株(根)にとって幹は子供。新芽を孫に見立てて「孫生え」と書いて「ひこばえ」と読むんです。

この言い回しも旧約聖書に出て来ます。

イザヤ 11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

エッサイの根株から新芽が生え。この新芽がひこばえ。これは「王となる方はユダ族の子孫だが、ユダ王族が切り倒された時に登場する」という事です。

ダビデ・ソロモンの時代はユダ民族/ユダヤ部族の黄金時代ですが、6世紀にバビロンに滅ぼされてしまい、4回に分けてバビロン捕囚。国民が生け捕りにされてバビロンに連れて行かれました。

その70年後、もう1度エルサレムに戻って来ますが、独立国家ではなくペルシア帝国の植民地なんです。帰って来てからは、ユダ・ダビデ王族は没落の一途を辿り、ちょうどイエス・キリストが誕生した頃のユダ部族のダビデ王家の子孫は、目も当てられないような一般庶民になり下がっていました。

イエス・キリストが誕生した時、ユダヤの国の王は外国人(エドム人)のヘロデ王。エドム人はギリシア語でイドマヤ。ユダヤ教に改宗しているけど、ユダ部族ともダビデとも何の関係もない人です。

本物のダビデ家の人たちは一般庶民で、イエス・キリストの戸籍上の父親であるヨセフは大工やん。大工がダメと言っているんじゃないですよ。だけど王様じゃない。

メシアはどのような時に登場するのか？ ダビデ王家が切り株になっている時にひこばえのように登場する。ダビデ王家が見る影もなく伐採されている時に登場するメシア。これが合致するのはイエス・キリストしかありません。

③黙示録 5:6 また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠(ほふ)られた姿で子羊が立っているのを見た。それは七つの角と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。

ここで非常に不思議な子羊が登場します。屠られた姿。動物が屠殺される時、特にこの時代は頸動脈を切りました。すると血液がビューっと出て来る。それを器に入れて、いけにえとして持って入ります。

屠られた姿の子羊はイエス・キリスト。十字架にかかって、血を流して下さった救い主イエス・キリスト。この方は十字架の上で、罪を取り除く神の子羊として死んで下さいました。

ところが、屠られた姿で子羊が立っている。体内の血液が殆ど出てしまったらバタッと倒れるでしょ。立っているというのは、屠られた傷跡を残しながら、自分の足でちゃんと立っている。復活の意味です。死んでおしまいじゃない。死んだけど3日目によみがえった方。死んでよみがえった方。

ユダ族から出た獅子にも拘らず、ダビデ王家が没落している時に来られ、十字架にかかって3日目によみがえった方。この3つの条件全部を満たしているのは、ナザレのイエス以外にはないのです。

「この方が7つの封印で閉じられた巻物を解く事が出来るから、泣くのをやめなさい」と5節で言っているのですね。

私の友人に行政執行官という仕事をしている人がいます。これは一応公務員というか公務員。給料の貰い方がちょっと不思議なんですけど。

どんな仕事かという、裁判やって何らかの結果が出ますが、その結果に従わない人がいるんです。

「賠償しなさい」「立ち退きなさい」「返済しなさい」と判決が出てるのに「ない袖は振れん」とか言って、裁判の最終判決を実行するつもりのない人が登場する時がある。その場合「しゃあないわ」だと、裁判やってる意味がない。それで、裁判結果を実現するために執行する役人が行政執行官です。

例えば「この家から立ち退きなさい。そこにいる権利はない」と判決が出ているのに「イヤやし」とか言って出て行かない。裁判で勝っても実現しないなら泣き寝入りと一緒にしょ。それで執行官が来て、外に連れ出して、家を本当の持ち主に渡すんです。

執行する時、最初にやる事は執行文書の読み上げです。「裁判第何十条何号の判決の通り、乙〇〇は甲△△の権利を侵しているの、ここに強制執行する」と言って、連れ出し出て行かせる。だけど「嫌じゃ!」と暴力で抵抗するかもしれませんね。

執行官にはすごい権限があるんですよ。もし抵抗したら、それを排除するために、警察の支援を要請するという権限。だから、「警官隊何十人呼んで連れ出してくれ」と言って。武力送致というか強制的にもぎ取る。だって裁判で「この人の方に権利がある」と。

なぜ、キリストにそれをする(7つの封印で閉じられた巻物を解く)資格があるのか?
父なる神様もいるじゃないですか。聖霊もいるじゃないですか。

これを解くのは、この世界に居座っている悪魔を、ご自分のいのちで立ち退かせるために正当な権利を持っている権威者だけなんです。

イエス・キリストは、十字架の上で私たちの罪を贖ただけではなく、世界そのものを贖いました。

この世界のオーナーは神です。神は管理人として最初の人間アダムに任せただけ、アダムは悪魔にそのかさされて反逆してしまったので、悪魔がそのままこの世界を牛耳り居直っています。しかしキリストは、ご自分のいのちでこの世界の買い戻しをしたので、悪魔に「退け!」と言う事ができるのです。

僕は小学校の時貧しくて。皆小学校に入ったら自転車持ってる。「グランド行こう」とか「公園行こう」とか遊びに行く時、皆自転車に乗って10台・15台ビューっと思うのを、私は持ってないから1人バーっとならんで走って。馬について行く足軽みたいに。なんぼ足早くて、自転車には置いてきぼりですよ。やっと着いたら場所変わってたりする。もうそれが辛いというか嫌で。

4年生になった時、母が、見るに見かねて自転車買ってくれたんですよ。嬉しかったねえ。

今は店頭で買って、そのまま乗って行く事ができるけど、当時は自転車屋さんが家まで持って来てくれたんですよ。その自転車、全部茶色の紙で巻いてあんなねん。自転車が包装紙みたいに紙で包まれてる。

乗るためには、まず紙を破らないとダメですね。

私ね、自分のために来たプレゼントだから、自分が剥き(むき) たかったんや。この紙。

ところが、近所の友達がワーっ来て「剛ちゃんの所にもな、自転車来たぞ!」私の許可を得ずに、勝手に

紙バーツと開き出してん。それが辛くて、嫌で嫌で。「やめろ」、よう言わんかってね。気弱くて。で、母に「(べそかいて)僕、自分でむきたいねん。」ほんなら母が「みんな、ごめんな。折角手伝ってくれてんのに。この子な、自分でむきたいで。」でも、殆ど剥くところあらへん。それを剥いてね。その時の気持ちを今の言葉で言うなら「金出した奴に剥く権利あるわ!」そういう事なんです。

7つの封印とは、この世界をもう1度神の主権に取り戻す事ですが、封印を解く事ができるのは、その贖いのために代価を払った方だけです。だから「ふさわしい者は誰か」と言ったら、イエス・キリストだとハッキリしたのです。この方だけが、いのちを捨てて下さったという事です。

③3つのグループが子羊を礼拝する理由は何か?

* 黙示録 5:8 巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、豎琴と、香に満ちた金の鉢を持っていた。香は聖徒たちの祈りであった。

4章では御座に座しておられる方に礼拝があったけど、ここでは子羊の前にひれ伏した。

第1グループ(子羊に1番近い所)は「四つの生き物と二十四人の長老たち」

4つの生き物は非常にハイレベルの御使いたち。私はセラフィムだと思っていますが。

24人の長老たちは教会の事でしたね。なぜ教会だと分かるのか?

黙示録 5:9-10 彼らは新しい歌を歌った。「あなたは、巻物を受け取り、封印を解くのにふさわしい方です。あなたは屠られて、すべての部族、言語、民族、国民(くにたみ)の中から、あなたの血によって人々を神のために贖い、私たちの神のために、彼らを王国とし、祭司とされました。彼らは地を治めるのです。」

すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなたの血によって人々を神のために贖った。

この人々は、1つの写本を除いて全ての写本が「私たち」と書いています。

「すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなた(キリスト)の血によって贖われた私たち」となると、これはクリスチャンです。

全ての部族、言語、民族、国民には、それぞれの歴史・それぞれの文化・それぞれの文明・それぞれの宗教があったと思います。だけど、違いがあるように見えて共通している事もある。同じ1つの神によって造られたんです。同じ一人の先祖(アダムとエバ)から出て来たんです。そして、皆罪人です。

「自分たちの本当のルーツは創造主なる神であり、御子イエスの血によって私たちに贖って下さった」という事を喜んでいるんですね。このような集団は教会だけです。だから、24人の長老は教会。この教会が「私たちをただ罪赦して下さっただけではなく、やがて王となり、祭司として下さる。千年王国ではそうなるんだ」と賛美しているのです。

* この賛美を聞いて、第2グループが賛美します。

黙示録 5:11-12 また私は見た。そして御座と生き物と長老たちの周りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。彼らは大声で言った。「屠られた子羊は、力と富と知恵と勢いと誉れと栄光と賛美を受けるにふさわしい方です。」

第2グループは「多くの御使いたち」。その数は万の数万倍、千の数千倍。要するに数えきれない多さ。その御使いたちが、第1グループの外側を円周のようにして大声で礼拝している。

もうね、オラトリオ。すごい合唱だと思いますよ。

* 御使いたちの賛美を聞くと、第3グループが出て来ます。

黙示録 5:13 また私は、天と地と地の下と海にいるすべての造られたもの、それらの中にあるすべてのものがこう言うのを聞いた。「御座に着いておられる方と子羊に、賛美と誉れと栄光と力が世々限りなくあるように。」

第3グループは「天と地と地の下と海にいるすべての造られたもの/全被造物」

なぜ、全被造物が神を賛美するのか？ 今自然界は崩壊しつつあります。崩壊の原因は、最初の間人アダムが罪を犯した結果、そのマイナスの影響を全被造物が受けているから。

でも、これはいつまでも続きません。教会が、やがて地上再臨するキリストと一緒にこの世界に来る時、全被造物もエデンの園の状態に回復するんです。だから、それを喜んでいるんですよ。

神は人間の罪を贖っただけではなく、世界を贖ったんです。

今のクリスチャンは、キリストによっていのちは贖われたけど、体はまだ贖われてない。

クリスチャンは贖わりたいのちを、贖われていない体の中に入れて生きているんです。

だから、「ほんまにしたい!」と思う事が、体の制限や罪の性質によって出来ない事があるんですよ。

この体も完全に贖われて罪を犯さない体になる時、まさに完全な調和が自分の中に生じます。

それが「携挙」の時に起こるのです。

* 全被造物が賛美しているのを聞いた時、

黙示録 5:14 すると、四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。

また第1のグループに戻るんです。4つの生き物と24人の長老たちは礼拝を始めるんですよ。

これはどういう事か？ 天での礼拝は無限ループなんです。

第1グループが賛美しているのを聞いて第2グループが賛美し、それを聞いて第3グループが賛美する。

第3グループの賛美を聞いた時、また第1のグループが賛美して。これがずーっと。

良いものはますます良い形になって永久に続くという世界。

この世界で「いいなあ」というのは余り長く続かないでしょ。「もっと長く続いて欲しい」というのはすぐ終わるじゃないですか。来ていらんやつは長い。愛する人と過ごす1年は1週間くらいに感じるでしょ？ 嫌な奴と過ごす1週間は1年くらいに感じるじゃないですか？ いい事はワッと終わってしまう。

でも天では、最も良いものが更に良いものになって永遠に続く。これが天です。

そして皆さん。これは天での光景で、患難時代のスタートである封印はまだ解かれてません。

なので、教会は患難時代の前に天にいるという事です。教会は患難時代に地上にいません！

教会が挙げられた後、封印が開かれて、患難時代が始まるのです。

最後に一つ読んでおきたいと思います。

黙示録 5:5 すると、長老の一人が私に言った。「泣いてはいけません。ご覧なさい。」

激しく泣いていたヨハネ。何によって涙が止まったのかというと、見るべき方を見る事によって、悲しみが癒えたんです。「ご覧なさい」と言われて指し示されたのがイエス・キリストだったのですね。

地上ではうんざりするようなニュースばかりです。特に今は。泣きたくなるような事件ばかり起こりますが、「私たちが目を留めるべき事は何か」という事を思い起こしておきたいのです。

ある方が書いていました。「ネットの普及と共に確実に増えたのは、自分を惨めだと感じる人の数だ。」インターネットはすごく便利。このYouTubeもネットで流しています。でも例えば、見るからに美男美女が夢のようなセレブの生活を、「これが私たちの日常生活」みたいにインスタグラムにアップしている。それを見る平凡な人たち、姿かたちも・年収も・能力も平々凡々の人たちが、加工された通りすがりの他人の生活を覗き見ると引き換えに手に入れるのは惨めさです。「こんなにキラキラの生活をしている人がいるのに、俺の生活は何なん？」みたいな。

人間は人と比べると嫌な人になります。ある時は優越感「俺が勝った!」ある時は劣等感「俺はあかんわ。」人と比べると焦り・不安・ねたみ。いつも心の中が穏やかではなくなる。人が見るべきは人ではない。「ご覧なさい。人をご覧なさい」ではない。

「ご覧なさい。ユダ族から出た獅子があなたを慰めて下さるのです。」で、ユダ族から出た獅子と言うので見たら、羊が出て来るんです。これ、どう思います? 見たら、屠られた姿で子羊が立っていた。皆さん、「あなたのために死んで下さった方、そして3日目によみがえった方をご覧なさい。」屠られた姿とは傷を負ったままの状態の事です。

僕は文学紹介者の頭木弘樹(かしらぎ ひろき/1964-)さんの本を読むのが大好きです。筑波大学の学生の時、潰瘍性大腸炎という難病に罹りました。この病気が分かった時20歳。医師からハッキリ「もう就職も出来ない。親に一生面倒見てもらうしかないよ。」エリート大学ですよ。同期は皆就職決めて旅立って行く。でも、彼は13年間入退院を繰り返すんです。数か月入院して、数か月自宅療養。また数か月入院する。

全大腸症。全ての大腸が炎症を起こして、電車に乗ってても、ひと駅我慢できない。日常生活送れない。「俺の人生、もう終わった。」13年目に手術して、良い薬が開発されたので、治った訳ではないけど出る事ができました。それまでは、そんな薬が出来る事も知らないのでどん底。

手術した時、麻酔が効かなかった。何かの手違いで麻酔量が間違っている。それで、手術後エビ反りで「痛タタタ!」もう辛くて苦しくて。夜中にナースを呼んで「お願いですから先生呼んで下さい!」「手術したら誰でも痛いよ。錠剤飲んで。」全然効かない。「先生呼んで下さい!」「夜間に先生起こしたら、私が怒られるのよ。」呼んでくれない。あまりの痛みで目が見えなくなったんですよ。痛みで目の前が真っ白になって、自分がいる集中治療室の景色が全く見えなくなった。本当に辛かった。苦しかった。

ところが、入院経験がある人・手術経験のある人にその話をしても「そんな経験した事1回もない。そんな事あるんだな。」彼と同じ経験をした人が誰もいないので共有できない。それで「そうなんだよ。痛かったんだ」で終わっていました。

ある日、相部屋だったおじさんが検査で病院に来て、仲間を労おうと思って行ったら、頭木さん以外は皆退院していた。「おまえ、まだおったんかー」と世間話が始まりました。「実は手術で麻酔の量が足りなくて、メチャクチャ痛かったんですよ。」「えっ!」しばらくの沈黙の後、おじさんがポロポロ泣き出した。

実はこのおじさん、アルコール依存症なんです。その後遺症で麻酔が効かないんですよ。でもどうしてもしなければならぬ手術で、まだ麻酔が効いていないのにメスが入る。身体が切り刻まれて。

「あんなに辛い事ないなあ！ 怖かったなあ！ 痛いなあ！」

彼が泣いている姿を見た時、頭木さんは初めて泣けた。この人はあの痛みを知っている。あの痛みが分かっている。おじさんの中にあるあの痛かった記憶、未だにトラウマのように心の傷になっている「痛かった！」というおじさんの傷を見て、心の中にあるわだかまりがスッと溶けて行った。

聖書に不思議な言葉があります。イザヤ 53:5 彼の打ち傷によって、私たちは癒された。

普通、傷は健康な人が癒すんじゃないですか？ ところが、傷が傷を癒すのだと聖書は語るんです。自分と同じように苦しんで下さったその傷を見た時、自分の悔しかった事・痛かった事が、まるで乗り移って行くかのように自分から去って、その人の所にスッと吸い込まれて行った。

屠られた姿の子羊とは傷を受けたままの子羊ですよ。この子羊が死んだきりではなく、立ち上がったのは「復活している。よみがえっている。死んでよみがえった方となられた。この方をご覧ください。」

自分の罪を思い出して「私なんかもう駄目だ」という方は、是非、屠られた姿の子羊を思い出して頂きたいのです。この方は、あなたの罪を十字架の上で完全に贖い、あなたを完全に赦して下さいました。そして墓に葬られ、3日目によみがえって下さったのです。

次に見るべき事は、黙示録 5:6 屠られた姿で子羊が立っているのを見た。

これは初臨のイエス・キリストの姿です。初臨とは1回目、処女マリアの体を通して生まれて来た時の事。ユダ族から出た獅子は、地上再臨のキリストの姿を表しています。皆さん、私たちはこの体で生きて、朽ちて、最後分からんようになってしまうのではありません。

最後はキリストの再臨によって、新しい時代/千年王国が始まりますが、クリスチャンたちはただ罪赦されただけではなく、黙示録 5:10 彼らを王国とし、祭司とされました。彼らは地を治めるのです。千年王国で王なる祭司として、キリストと共に統治するのだと語っているのです。

私たちが見るべきはここだと思います。つまり、クリスチャンはどのような人かということ、1番いい事が未来に待っている人たち。1番ワクワクする事がこれから始まるという事が約束されている人たちです。それは、全ての人に与えられています。誰でもクリスチャンになれます。あなたが悔い改めて、イエス・キリストを救い主だと信じるなら、あなたは救われます。

是非、イエス・キリストにある望みを握って、地上の生涯を生きて行こうではありませんか。心からお勧めして終わります。ありがとうございました。

* 動画は YouTube で「HCA 東住吉キリスト集会」検索。ぜひ見て下さい。

* ラジオ番組「聖書と福音」(15分)も是非どうぞ。スマホでいつでも聞けます。YouTube もあります。

動画筆記 : Rumi

